

**さあ！！
大阪で先生しよっ！！**

**大阪府教員採用選考テストの仕組みと動向・
大阪府が求める人物像について**

大阪府教育庁 教職員室
教職員人事課 採用グループ

1

はじめまして、大阪府教育庁 教職員人事課の〇〇と申します。

本日は、大阪府公立学校教員採用選考テストに興味を持っていただきありがとうございます。

既に「大阪府の教員採用選考を受験したい。」と思っている方も、「他の自治体と迷っている。」という方も、ぜひ最後までお付き合いください。

本日の説明内容

- ◆ 概要
- ◆ 教員採用選考テストについて
- ◆ 大阪府が求める人物像

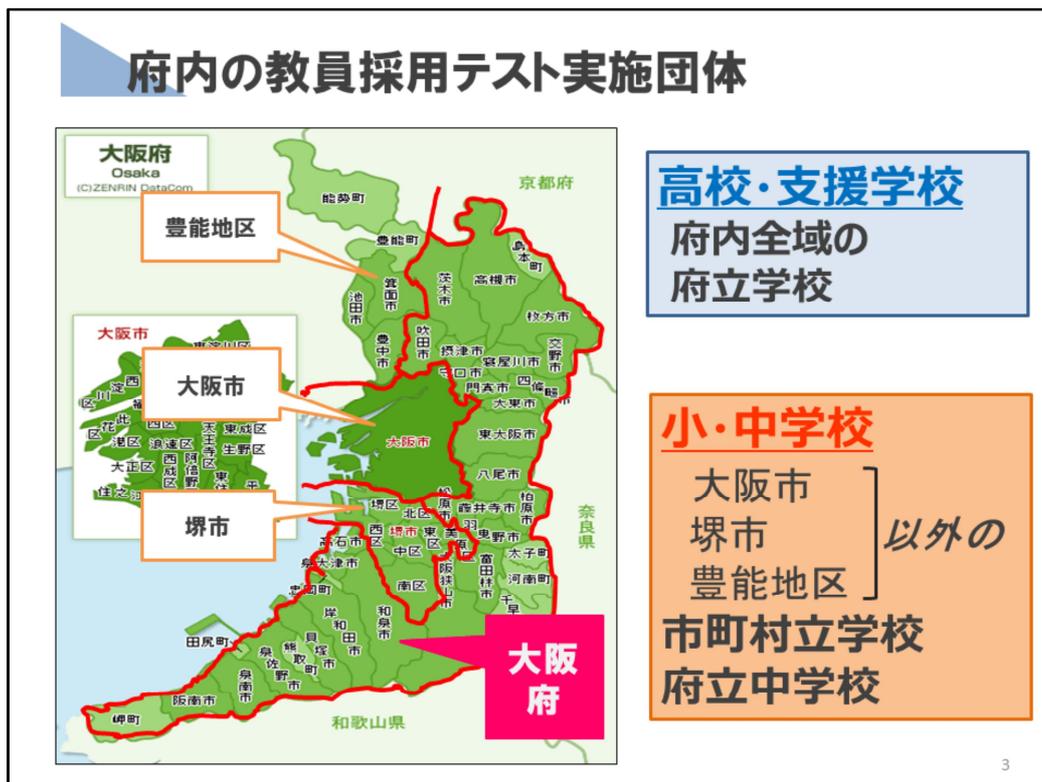


©2014 大阪府もずやん

2

本日は「概要」、「教員採用選考テストについて」、「大阪府が求める人物像」の3点についてご説明します。
まずは「概要」についてです。

府内の教員採用テスト実施団体



まず、こちらの大阪府の地図をご覧ください。府内には、大阪府が実施するテスト以外に、「大阪市」「堺市」「豊能地区」のテストがあります。つまり「大阪府」では「大阪市立」「堺市立」「豊能地区」以外の地域の教員採用選考を実施しています。

高等学校や支援学校の府立学校については、府内全域が大阪府の採用選考の対象です。小・中学校については、今申し上げた「大阪市」「堺市」「豊能地区」は「大阪府」とは別のテストとなっているので、ご注意ください。

選考校種について

特別支援学校
免許必須

- 小学校
- 小中いきいき
- 中学校

小中両
免許必要

- 高等学校

【支援学校】

- 小学部・幼稚部
- 小学部
- 中学部
- 高等部

4

次はテストの学校の種類についてです。府では、1校だけ府立の中学校がありますが、それ以外は市町村立の学校である「小学校」と「中学校」、府立の「高等学校」と「支援学校」があります。

なお、支援学校への出願には、すべての学部において特別支援学校教諭の普通免許状が出願要件となります。

さらに、府では、小中一貫教育を推進する視点から、「小中いきいき連携」という選考枠を設けています。小学校免許と中学校免許の両方を取得していることが条件になります。テストは小学校と同じ内容で、小中学校のどちらの配属になるかは、合格後に決定されます。

今年度の募集教科・科目について〔受験案内3p〕

【中学校】【中学部】

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語

【高等学校】

国語、地理歴史(日本史、世界史、地理)、公民(政治経済、倫理)、
数学、理科(物理、化学、生物、地学)、音楽、美術、書道、
保健体育、家庭、農業、工業(機械、電気)、英語、情報

【高等部】

国語、地理歴史(日本史、世界史、地理)、公民(政治経済、倫理)、
数学、理科(物理、化学、生物、地学)、音楽、美術、書道、
保健体育、家庭、農業、工業(機械、電気)、英語、情報、
公民・福祉共通、家庭・福祉共通

【その他】 養護教諭、栄養教諭、自立活動(肢体不自由教育)

5

次に、今年度募集する教科・科目です。たくさんあるので、資料を見ておいてください。受験案内の3ページに記載していますので、ぜひご確認ください。

併願について

① 小中いきいき連携併願

出願	併願
小学校	小中いきいき

※「小学校」出願者のみ対象

② 支援学校併願

出願	併願
中学校	中学部
中学部	中学校
高等学校	高等部
高等部	高等学校

③ 中高併願

出願	併願
中学校	高等学校
高等学校	中学校
中学部	高等部
高等部	中学部

②③併用可能
⇒ ②を優先

※②・③の併願対象教科(科目)は限定されています。受験案内P.4で併願可能か必ず確認してください。
※併願判定については、対象教科(科目)において、合格者数が採用予定者数に満たない場合のみ判定します。

6

続いて、併願制度についてです。府では3種類の併願制度があります。

1つ目は「小中いきいき連携併願」です。これは、「小学校」に出願される方が「小中いきいき連携」に併願できるという制度です。ただし、小・中両方の教員免許を持っている方に限られますので、ご注意ください。

2つ目は、「支援学校併願」です。「中学校」の出願者が支援学校の「中学部」に、「高校」の出願者が支援学校の「高等部」に併願できるという制度です。もちろん逆のパターンで、「中学部」の出願者が「中学校」に、「高等部」の出願者が「高校」に併願することも可能です。

3つ目が、「中高併願」です。こちらは、「中学校」と「高校」を、支援学校の「中学部」と「高等部」を併願できるという制度です。

2つ目の「支援学校併願」と3つ目の「中高併願」は、併願可能な教科(科目)が限られますので、受験案内の4ページを確認してください。

なお、2つ目の「支援学校併願」と3つ目の「中高併願」は併用することができます。併用を希望する場合は、「支援学校併願」を優先します。

いずれの併願においても、併願した校種・教科(科目)で第3次選考の合格者数が採用予定数に達しなかった場合のみ判定します。

次は「教員採用選考テストについて」です。

本日の説明内容

- ◆ 概要
- ◆ 教員採用選考テストについて
- ◆ 大阪府が求める人物像

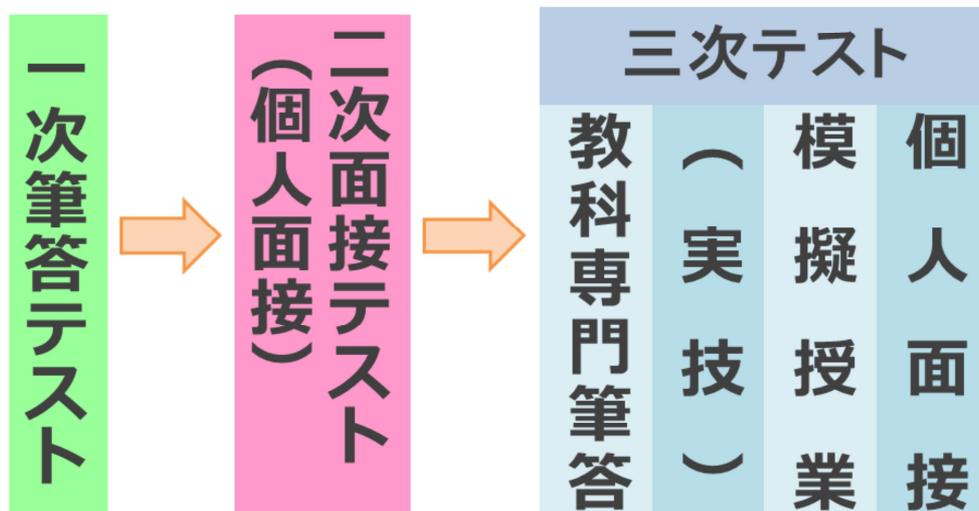


©2014 大阪府もずやん

7

次は、大阪府の教員採用選考テストを受験しようとしている方には一番興味があるところかもしれません。

教員採用選考テストの仕組み

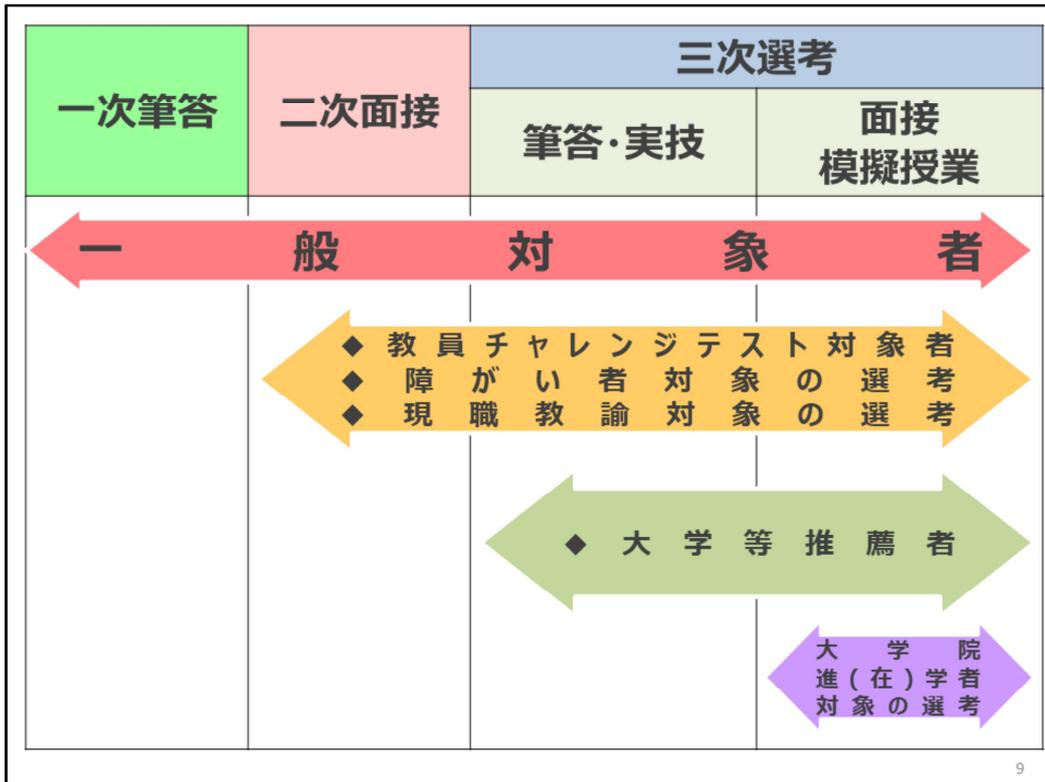


8

まず、テストの仕組みです。

1次は筆答テスト。2次は個人面接です。2次の合否判定は、1次の筆答と2次の面接の合計点で行います。3次テストは校種教科によって内容が異なります。教科専門筆答テスト、実技テスト(対象校種・教科のみ)、教科の模擬授業と個人面接です。

模擬授業と個人面接は、一括りで「面接テスト」としており、先に模擬授業を行い、その後引き続き個人面接を行います。



府のテストには、先ほど紹介した1次選考(筆答)から受験する一般対象者のほかに、一部の選考を免除となる選考区分があります。

1次筆答が免除されるものとして、教員チャレンジテスト対象者、障がい者対象の選考、現職教諭対象の選考があります。これらは2次面接からの受験となります。

2次面接まで免除されるものとして大学等推薦者があります。

また、大学院進(在)学者対象の選考については、一度テストに合格した後、大学院進(在)学し専修免許の取得を理由に採用を辞退された方を対象とした選考です。この選考では3次の筆答・実技も免除され、面接と模擬授業のみの受験となります。

大学等推薦制度について

【今年度対象校種・教科（科目）】

- ・ 小学校
- ・ 小中いきいき連携
- ・ 中学校（数学・理科・技術）
- ・ 高等学校（工業（機械・電気））
- ・ 支援学校（全校種）

※中学部は社会・保健体育、高等部は地理歴史・公民・保健体育を除く。

- ◆ **大阪府公立学校教員となることを第一志望としている人**
- ◆ **求める教員像を有し、教育ボランティア等の教育活動に熱心に取り組んでいる人**
- ◆ **公立学校教員としての適性を有し、学業成績が優秀な人**

など7つの要件を満たし、学長が推薦する人。

10

次に、大学等推薦制度についてです。対象の校種・教科等は限られていますが、大学から推薦を受けて受験する、大学等推薦者対象の選考を実施しています。

対象校種・教科（科目）も限られ、推薦基準もありますが、審査を通過すれば、第1・2次選考が免除され、第3次選考からの受験となります。

「絶対に大阪府で教員になりたいんだ！」という方は、ぜひ大学の教職担当者に相談してみてください。

加点について（主なもの）

※詳細は受験案内 P.6～

英語資格所有者

- ◆ 英検
小: 2級以上 中高: 準1級以上
- ◆ TOEFL iBT
小: 42点以上 中高: 72点以上
- ◆ IELTS
小: 4.0以上 中高: 5.5以上
- ◆ TOEIC
小: 550点以上 中高: 785点以上
- ◆ ケンブリッジ英語検定
小: 140以上 中高: 160以上
- ◆ GTEC
小: 960以上 中高: 1190以上
- ◆ 中高「英語」免許所有者（小のみ）

一次に加点
（二次から受験の人は
二次に加点）

司書教諭資格所有者

- ◆ 令和3年3月31日時点で、
司書教諭講習修了証書を取得している者
- ※ 必ず上記の期間までに、
原本が交付されていること。

特別支援学校教諭免許状所有にかかる加点

- ◆ 「小学校」「小中いきいき連携」「中学校」「高等学校」出願者のうち、当該免許状を所有している（見込み含む）者

他の加点区分に加え
さらに10点加点

11

続いて、加点制度について説明します。

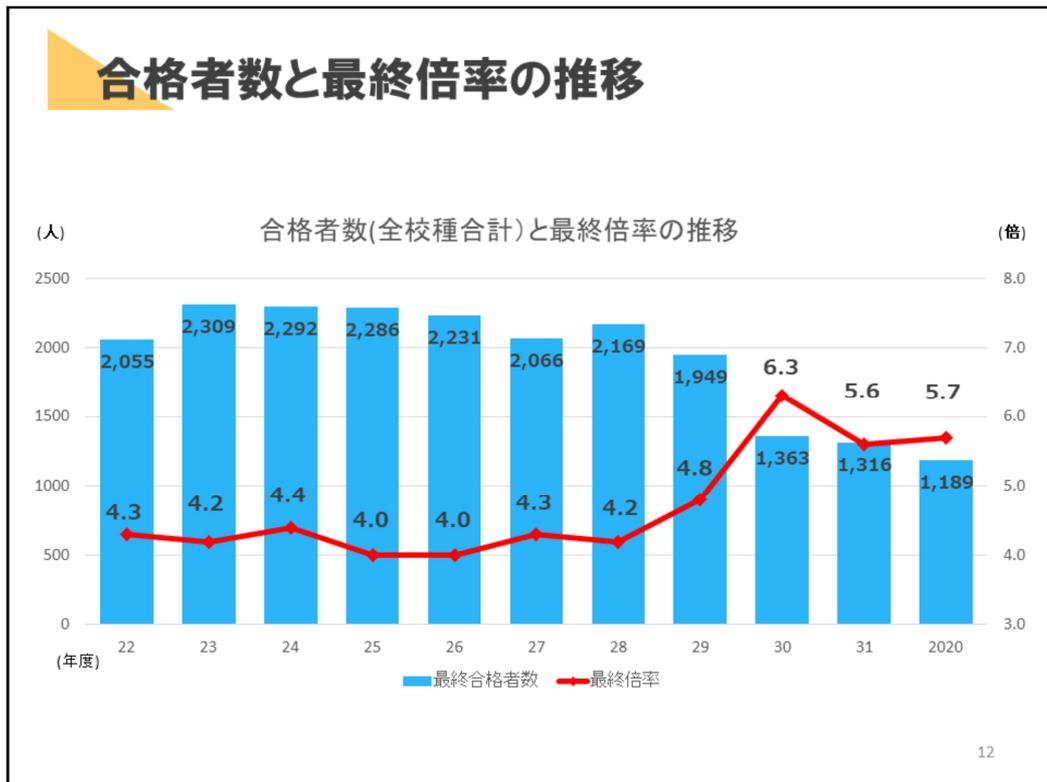
大阪府が求める資格や経歴などをもとに、1次筆答テスト、及び2次選考の合計点に加点します。本日は、みなさんに関係のありそうな加点区分をいくつか紹介します。

まず1つ目ですが、「小学校」「小中いきいき連携」「幼稚部・小学部共通」「小学部」及び中高「英語」出願者のうち、英語資格所有者として、基準を満たしている方が対象です。

2つ目に、司書教諭資格所有者です。この加点は、受験する年度末までに司書教諭講習修了証書を取得することが条件となります。必要な単位を履修し、修了証書を申請したとしても、修了証書が年度末までに交付されないときは対象とはなりませんので、必ず確認しておいてください。

最後に、特別支援学校教諭免許状所有者に対する加点制度です。「小学校」「小中いきいき連携」「中学校」「高等学校」の出願者のうち、特別支援免許所有者（見込み含む）については10点を加点します。この加点制度については、他の加点区分と併用することができます。他の加点区分での加点に加えて、プラス10点が加点されます。

合格者数と最終倍率の推移



次に合格者数と最終倍率の推移です。こちらは、過去11年分の合格者数等の推移をグラフにしたものです。これまでの倍率は4倍程度でしたが、平成29年度に実施した平成30年度の選考テストでは、採用予定数が大幅に減ったこともあり、6.3倍になりました。昨年度の倍率は、5.7倍でした。

次は、「大阪府が求める人物像」です。

本日の説明内容

- ◆ 概要
- ◆ 教員採用選考テストについて
- ◆ 大阪府が求める人物像



©2014 大阪府もずやん

13

本日最後の項目である「大阪府が求める人物像」について説明します。

大阪府が求める人物像

豊かな
人間性

実践的な
専門性

開かれた
社会性

14

府では「大阪府教育委員会の求める人物像」として、「豊かな人間性」「実践的な専門性」「開かれた社会性」の3点をあげています。

◇豊かな人間性

まず、府では、何より子どもが好きで、子どもと共感することができ、子どもからも学び、子どもに対して積極的に心を開いていくことができる「豊かな人間性」を重視しています。

子どもたちは、小さな心の中に、たくさんの不安や悩み、また未来への夢を抱えています。そんな子どもたちと本気で向き合う。これほど大切なことはありません。

子どもたちを元気づける、勇気づける、子どもの気持ちを理解し、受け入れる、そうした「豊かな人間性」をもった教員を求めています。

◇実践的な専門性

2点目は、「実践的な専門性」です。幅広い識見と、専門的知識、技能に裏打ちされた指導力を兼ね備えた教員であってほしいということです。

いじめや不登校など直ぐに解決を図るべき教育課題に対応していくために、教員一人ひとりが子どもの変化を見極め、適切に対応できるという、実践的な指導力が必要とされています。

そのためには、専門分野についての知識、技能はもちろんのこと、幅広い識見と、社会の変化に的確に対応しうる、主体的・自律的に教育活動に当たる、そうした姿勢を持った教員を求めています。

◇開かれた社会性

3点目は、「開かれた社会性」です。

教員が子どもたちの課題に向き合い、未来を担う子どもたちの育成に取り組んでいくためには、広い視野に立ち、学年や教科、学校だけではなく、保護者や地域の方々と積極的にコミュニケーションをとって、日々の教育活動に取り組んでいく必要があります。

そのため、保護者や地域の人々と相互連携を深めながら、信頼関係を築き、学校教育を通して家庭や地域に働きかけ、また、その思いを受け止めることができる「開かれた社会性」を持った教員であってほしい、と考えています。

府では、求める人物像に即して、人間的に魅力のある方を採用することに力点をおいています。

OSAKA教職スタンダード

第4期 キャリアの成熟期

分掌や学年など校内組織の長を担うなど学校運営上の重要な役割を担当する。豊富な経験を生かし、広い視野で組織的な運営を行う。

第3期 ミドルリーダー深化期

分掌や学年など校内組織のミドルリーダーとして専門性や自らの実践をもとに組織を活性化する。同僚や経験の少ない教員への指導的役割を担う。

第2期 ミドルリーダー発展期

知識や経験に基づき専門性を高め、積極的に実践を積み重ねる。教員としての自立期。

第1期 初任期

教員として基礎的な力や実践力を身に付けている。

第0期 採用時(教員養成期における到達目標)

大阪府が採用時に求める教員としての資質・能力。求められる教員像。

学び続ける教員

(参考)「大阪府教員等研修計画」で検索

15

大阪府の教員採用選考テストを受験される方の参考になるとと思いますので、「OSAKA教職スタンダード」についても触れておきたいと思います。

府では、教員として必要とされる資質・能力についてキャリアステージごとに整理した「OSAKA教職スタンダード」を作成していますが、「第0期」では、採用前に必要とされる資質・能力を定めており、テストにおいては、この「第0期」の観点を踏まえて選考を実施しています。一度ご覧いただければ、「第0期」以降のキャリアステージも含めて参考になるとと思いますので、ぜひ府のHPに掲載している大阪府教員等研修計画を確認してください。

ここまで説明を聞いていただきありがとうございました。最後に大阪府からのPRを3点お伝えします。

合格後のフォロー体制

採用日までに「合格者対象セミナー」を実施

(目的)

学校現場の状況や教員の仕事について知るとともに、
教員として必要な心構えや、実践的教育力育成に向
けての基礎的な知識等を身に付ける。

(実施内容)

- ・子ども理解と集団づくり
- ・先生と子どものアンガーマネジメント 等

スムーズな入職に向けての取組み

まず、合格後のフォロー体制についてです。

学生の皆さんとお会いする機会でも、合格後の不安の声をよく聞くことがあります。府では、そのような不安を少しでも解消していただけるよう、テスト合格者に対して「合格者対象セミナー」を実施しています。

同期の方と知り合う機会にもなりますし、4月からの教員生活に向けた良い準備の機会にもなりますので、是非参加してください。

過去問の入手方法

◆ ホームページ からダウンロード



◆ 「府政情報センター」で閲覧・コピー(有料)

ぜひご利用ください！！



©2014 大阪府もずやん

17

次に、過去問の入手方法についてです。

過去5年分(H28～2020教採)の筆答テストや模擬授業のテーマなど過去の問題・正答について、大阪府のホームページで公表しています。また、大阪府庁本館の「府政情報センター」でも閲覧・コピーしていただくことができますので、是非ご利用ください。



おおさか教志通信
採用テストの情報満載のメルマガ
大阪府教育庁のホームページから
簡単に登録できます！

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kyoshokuin/kyosai/kyoushitushin.html>



©2014 大阪府もずやん 18

大阪府では、大阪の先生をめざす方々のためにメールマガジン「おおさか教志通信」を配信しています。このメルマガでは、テストに関する様々な情報を配信していますので、ぜひご登録ください。

子どもが**好き**。 だから、**頑張れる**。

大阪の子どもたちは
そんな『**あなた**』を待っています。



19

本日お集まりの皆さんが、教育に対する熱い情熱と志をいつまでも失われず、大阪府の教員として活躍されることを切に望んでいます。
最後までお聞きいただきありがとうございました。